



令和2年度第 72 回卒業式が行われました!

本年度の卒業式が令和3年3月1日に行われ、普通科43名、水産科12名が本校を卒業しました。今年は、コロナ禍の影響で学校行事も部活動も予定が大きく変わり、卒業生にとっては、不完全燃焼の感が残る1年となってしまいました。それでも卒業生は胸を張って本校を旅立っていきました。

今年の卒業生が入学した3年前は、本校が「コミュニティスクール」として再出発した年でした。当時は、コミュニティスクールよりも「小規模特例校」という名称がクローズアップされて、本校が統廃合になるのではという危機感があり、その影響か、入学志願者が極端に減ってしまいました。そうした状況下で入学した卒業生たちですが、在学中、様々なことに挑戦しコミュニティスクールとしての本校の新しい伝統を築いてきました。例えば、町の若手農業者の「担い手育成シンポジウム」で意見発表したり、町役場が企画した「未来創造会議」で若者にとって魅力的な町づくりに必要なことについてプレゼンテーションしたりと従来の本校では考えられなかった活動です。こうした取り組みが実を結び、その後は少しずつ入学志願者も増えています。卒業生の活躍には、心から敬意を表したいと思います。

さて、卒業生の進路状況ですが、今年は進学者が4割、就職者が6割という状況でした。例年は進学者3割就職者7割ですから、進学者が若干増えています。特に今年は4年制大学への進学者が4名と多くなっています。上級学校でより専門的に学びたい人が増えているようです。就職者は、南那須地区内を中心にほとんどが県内の事業所に決まりました。コロナ禍で就職式開催開始が1ヶ月遅くなりその影響が心配されましたが、ほぼ全員が進路実現を果たしました。但し、学級減で卒業生の人数が少なくなったため、例年内定をもらっている企業からの求人に応えることができない例もありました。来年度以降は、生徒数も増えますのでまた求人に応えられるようにしていきます。

卒業生が今後、それぞれの分野で活躍することを願っています。

【フォトギャラリー】卒業式の様子



卒業証書授与



在校生代表送辞



卒業生代表答辞